

3. 活力ある産業 ① 農業・水産業の振興

評価者	農林水産担当理事 谷川 英次			
令和6年度 実行宣言				
・農業経営を効率的に行うための基盤整備を推進し、担い手の経営発展に向けた農業用機械・施設の導入について支援することで農地集積の拡大をめざします。 ・カーボンニュートラルの取組として、化学農薬や化学肥料を抑えた環境保全に効果の高い営農活動を推進します。 ・獣害に強い作物(ミシマサイコ等)について、生産者の拡大と作物栽培の普及に向け、更に取組を進めます。 ・更なる農作物被害の減少をめざして、引き続き有害鳥獣の捕獲と防護柵による予防などに支援を行います。また、猟友会との連携強化を図るとともに、三重県協力のもと先進事例などの情報収集と研究を行い、より効果的な獣害対策をめざします。 ・農道や用排水路など農業施設の修繕等を実施することで農家の負担軽減を図る支援に努めます。 ・水産資源の保護と増殖に向けた取組について、継続的な支援を行うことで水産資源の回復と漁獲量の増加をめざします。				
令和6年度 評価			☆評価	☆☆
・農地集積について、国の補助制度等を活用し、JAの共同乾燥施設の整備や、新市場の開拓(輸出)に取り組む認定農業者へのコンバイン導入、新規就農者のビニールハウス整備への支援などを行うことで、集積率は1.1%アップしましたが、目標達成には至りませんでした。 ・環境保全型農業直接支払対策交付金を活用し、堆肥の施用を促進することによる化学肥料・化学農薬の使用抑制など、メタン排出量の削減に取り組む農業者への支援を行い、環境に配慮した営農活動を推進しました。 ・獣害に強い薬用作物(ミシマサイコ)について、生産者の拡大と作物栽培の普及を図るため、現地見学会を3回実施することで、新たに1名の方が栽培を開始されました。 ・有害鳥獣対策として、猟友会の協力のもと捕獲に努めるとともに被害農地への防護柵設置支援などを行い、農作物被害の軽減を図りました。米などの被害作物に係る単価の増により目標は達成できませんでしたが、被害面積と被害量は前年度より減少させることができました。 ・水産資源の保護と増殖について、ガザミ28万尾の種苗放流や「砕石覆砂」を行い、水産資源の回復と漁獲量の増加に取り組みました。 ・地域の農家組織が行う農道や用水路など農業施設の維持修繕等に対し、原材料支給等約120件、農業施設修繕に関する工事9件に支援を行い、農家の負担軽減を図りました。				
令和7年度 実行宣言				
・担い手への農地集積を進めるため、農業経営を効率的に行うための基盤整備を推進し、担い手の経営発展に向けた農業用機械・施設の導入について支援を行います。また、令和7年4月から農地の貸借手続きが変わり、農地中間管理機構を介した手続きに移行されたことから、担い手や地権者の方々には、必要に応じて制度の説明会などを開催するとともに、市の利用権設定が終了する際の切り替えにかかる事務手続き等については、寄り添ったきめ細やかな支援を行います。 ・中山間地域においては、猟友会の協力による有害鳥獣捕獲や、侵入防止策の設置、追い払い等による有害鳥獣対策を継続するとともに、獣害に強い薬用作物(ミシマサイコ)については、作付けの普及が進んでいないことから、農福連携なども視野に入れながら、生産者の拡大に向けた取組を進めます。 ・カーボンニュートラルの取組として、化学農薬や化学肥料を抑えた環境保全に効果の高い営農活動を推進します。 ・農家の負担軽減を図るため、農道や用排水路など農業施設の修繕等に対して支援を行います。 ・水産資源の保護と増殖に向けた取組について、種苗放流にかかる支援などを継続的に行うことで水産資源の回復と漁獲量の増加をめざします。				

評価者	農業委員会事務局長 山路 伸之			
令和6年度 実行宣言				
・タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に積極的に活用してもらい、これまで以上に農地利用の最適化を効率的に推進していきます。				
令和6年度 評価			☆評価	☆☆☆
・7月・9月に農業委員・農地利用最適化推進委員の合同総会及び合同研修会を開催し、タブレット端末の実地活用方法等の研修を行いました。その後は現地立ち会い等の際に、今までは紙資料にて現地立会いの資料等を郵送していましたが、それを電子データにて送信するように変更し、紙資料の縮減に努めることができました。				
令和7年度 実行宣言				
・農業委員・農地利用最適化推進委員と共に耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等)に努めていきます。				

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	市内耕地面積のうち、担い手農家への農地集積率				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	58.5 %	61.3 %	64.0 %	66.8 %	
	実 績	55.7 %	56.8 %	— %	— %	— %	
	評 価	—	D	—	—	—	
	今後の方針	認定農業者数等が全国的に減少傾向にあるため、個々の農業者の経営基盤強化に向けた支援に努めることで、集積率の向上をめざします。					
数値目標 ②	項 目	野生鳥獣による農作物被害額				目標種別	↓
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	10,965 千円	10,810 千円	10,655 千円	10,500 千円	
	実 績	11,120 千円	12,608 千円	—	—	—	
	評 価	—	E	—	—	—	
	今後の方針	猟友会と連携して有害鳥獣の捕獲に努め、また被害農地への防護柵設置に支援を行うことで農作物被害の軽減を図ります。					
数値目標 ③	項 目	ガザミなど種苗放流種の漁獲量				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	10.5 ト	11 ト	11.5 ト	12 ト	
	実 績	10 ト	12.2 ト	— ト	— ト	— ト	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	ガザミなど水産資源の増殖に向けた種苗放流にかかる支援を継続的にを行い、安定した漁獲量の増加を図ります。					
数値目標 ④	項 目	耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等)				目標種別	→
	評価者	農業委員会事務局長 山路 伸之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	55 件	55 件	55 件	55 件	
	実 績	55 件	55 件	— 件	— 件	— 件	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	農業委員・農地利用最適化推進委員の協働による農地パトロールを実施し耕作放棄地のフォローアップに努めます。					
関係所属							
農水振興課、農村整備課、農業委員会事務局							

3. 活力ある産業 ②林業の振興

評価者	農林水産担当理事 谷川 英次		
令和6年度 実行宣言			
・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援などを図ります。 ・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、支援対象となる住宅の延床面積を70㎡以上から60㎡以上に緩和し、県内外に広くPRを行い地域材の需要拡大を図ります。(目標115棟) ・J-クレジットの更なる認証に向けて、プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めます。			
令和6年度 評価			☆☆☆☆
・主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援などの効果により、素材生産量は増加しました。 ・松阪の木を使用した住宅建築の支援棟数は74棟(目標115棟)で、建築資材等の価格高騰により着工時期を見合わせる事例が多く目標を達成することはできませんでしたが、県内外に広くPRを行ったことで、市外(県外含む)棟数の増加につながりました。 ・J-クレジットの更なる認証に向けて、プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めました。			
令和7年度 実行宣言			
・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援など、引き続き取組を進めます。 ・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、事業の一本化と併せて補助金単価の見直しによる支援の拡充を図るとともに、県内外に広くPRを行い地域材の需要拡大を図ります。(目標115棟) ・プロジェクト計画及び森林経営計画に基づき、令和5年度と令和6年度分のCO2吸収量によるJ-クレジットの創出を行います。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項 目	間伐による森林整備面積(累計)				目標種別 ↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	1,520 ha	2,280 ha	3,040 ha	3,800 ha
	実 績	762 ha	1,467 ha	— ha	— ha	— ha
	評 価	—	A	—	—	—
	今後の方針	未整備森林の公益的機能(動物が棲息する場の提供や、土砂災害防止、水質の浄化など)を発揮できるよう、森林所有者への意向調査に基づく整備面積の確保に努めます。				
数値目標 ②	項 目	主伐による木材生産量(累計)				目標種別 ↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	46,600 ㎡	73,200 ㎡	102,100 ㎡	133,200 ㎡
	実 績	22,233 ㎡	53,091 ㎡	— ㎡	— ㎡	— ㎡
	評 価	—	S	—	—	—
	今後の方針	引き続き「緑の再生事業補助金」及び「森林作業道整備事業補助金」の活用を推進するとともに、架線集材と経営計画の樹立が円滑に行えるよう支援を進めます。				
数値目標 ③	項 目	適切な森林管理によるJ-クレジット創出量(累計)				目標種別 ↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	1,591 t-CO2	7,160 t-CO2	7,160 t-CO2	14,260 t-CO2
	実 績	1,591 t-CO2	1,591 t-CO2	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2
	評 価	—	S	—	—	—
	今後の方針	プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めるとともに、2年に1度の計画でJ-クレジットの創出に取り組みます。				

関係所属
林業振興課

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

3. 活力ある産業 ③ 商工業の振興

評価者	産業文化部長 岡田 久	
令和6年度 実行宣言		
・中心市街地商店街において、商店街連合会と連携を取り、創業支援のためのチャレンジショップや若者が集える場所等、空き店舗活用に向けた有効な施策を探り、松阪駅周辺の賑わい創出を図ります。		
↓		
令和6年度 評価	☆評価	☆☆☆
・産業支援センターへの相談件数は、市内事業所が事業成長を図るための相談窓口としての利用、また、令和6年度より北部・香肌商工会でも月1回の出張相談窓口を開設し、相談を受け入れる体制を新設しながら、市内事業所への支援拡大を進めましたが、相談件数は目標数値に達しませんでした。 ・創業支援においては、松阪商工会議所、北部・香肌商工会と連携をとり、創業者数は順調に推移し全体目標については、達成しましたが、若年層においては目標値には至りませんでした。 ・商店街連合会と連携を取り、聞き取り調査やアンケートの実施を基に、有効な施策の検討を行いました。これらのことから空家・空店舗が増えつつある現状を改善するため、令和7年度には新たな事業として「昔の風情を生かした中心市街地の空家・空店舗改装補助金」を創設しました。		
↓		
令和7年度 実行宣言		
・産業支援センターや商店街連合会と連携し、中心市街地の空家・空店舗への出店を促進し、松阪駅周辺に賑わいを創出します。		

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	産業支援センターへの相談件数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	－	975 件	980 件	990 件	1,000 件	
	実 績	973 件	929 件	－ 件	－ 件	－ 件	
	評 価	－	E	－	－	－	
	今後の方針	各補助金の内容を随時HPに掲載し、窓口用の補助内容一覧を作成して情報発信を行います。また、昨年に引き続き、各商工会にて月1回程度の出張相談窓口を開設し、市内事業所が経営相談をしやすい環境を整備し、経営支援を行います。					
数値目標 ②	項 目	創業支援から創業につながった人数(全体)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	－	30 人	32 人	34 人	35 人	
	実 績	20 人	33 人	－ 人	－ 人	－ 人	
	評 価	－	S	－	－	－	
	今後の方針	関係団体と連携し、創業支援施策の周知と活用を図り、市内の創業者を増やしていきます。					
数値目標 ③	項 目	創業支援から創業につながった人数(若年層)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	－	4 人	6 人	8 人	10 人	
	実 績	2 人	3 人	－ 人	－ 人	－ 人	
	評 価	－	C	－	－	－	
	今後の方針	関係団体と連携し、創業支援施策の周知と活用を図り、市内の創業者を増やしていきます。					

関係課
商工政策課

3. 活力ある産業 ④ 企業誘致・連携の推進

評価者	産業文化部長 岡田 久		
令和6年度 実行宣言			
・新たな産業用地の整備を着実に進め、企業誘致につなげるとともに、引き続き中小企業の子育て支援を促進させる取組を進めます。また、松阪市地球温暖化対策実行計画に位置付けられているJ-クレジットの市内での有効活用を図るため、事業者への販売促進に注力します。			
令和6年度 評価		☆評価	☆☆☆
・市内への「企業立地件数(累計)」、「市内事業者に対する連携支援件数(累計)」は目標値を達成しました。また、それらのバロメーター的指標である「企業等訪問延べ件数」は、令和6年度は461社となり、令和5年度に引き続き目標の400社を上回りました。 ・新たな産業用地整備(ウッドピア松阪北地区)については、造成設計が完了したことから、造成工事に着手し、今後の企業誘致活動の進展に寄与しました。 ・市内事業者の子育て応援の機運を醸成するため、仕事と子育ての両立支援に取り組む市内企業への奨励金制度(くるみん認定取得奨励金)の実施により、中小企業の子育て支援促進につなげました。 ・「松阪市未来につなぐ森林管理J-クレジット」の販売募集を行ったところ、想定を上回る1,147トンの購入申込があり、森林整備の促進に貢献しました。 ・ハンズオン支援事業を通じ、企業と市が一体となった活動を行い、多くの企業との公民連携が進みました。			
令和7年度 実行宣言			
・新規企業立地及び既存企業の再投資の実現のため、企業、金融機関等への訪問や面談等による継続的な誘致活動を行うとともに新たな産業用地の整備を進め、地域の経済成長につながる企業の誘致に取り組めます。また、「中小企業伴走型ハンズオン支援事業」により、企業の経営力向上に取り組むほか、企業の技術や製品の販路拡大を支援する等、多面的な経営支援を行います。さらに、中小企業の子育て支援の促進に向けた取組やJ-クレジットの事業者への販売促進に注力します。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項目	企業立地件数(累計)				目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久				↑
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	3 件	6 件	9 件	12 件
	実績	2 件	3 件	— 件	— 件	— 件
	評価	—	S	—	—	—
	今後の方針	企業情報の収集、及び産業用地情報の発信に努め、市内への新規企業進出、及び市内企業の再投資を促進します。				
数値目標 ②	項目	市内事業者に対する連携支援件数(累計)				目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久				↑
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	17 件	25 件	33 件	40 件
	実績	10 件	20 件	— 件	— 件	— 件
	評価	—	S	—	—	—
	今後の方針	企業が直面する課題について、個社の実態を丁寧に聞き取り、最適な連携を提案します。				

関係所属
企業誘致連携課

3. 活力ある産業 ⑤ 観光・交流の振興

評価者	産業文化部長 岡田 久		
令和6年度 実行宣言			
・公民連携を活用したインバウンド需要にも対応できる観光誘客プロモーション事業を展開し、国内外からの入込客数を増加させます。また、国宝に指定されることになった船形埴輪のPRに積極的に取り組み、部内各課と連携しながら観光客誘致につながる事業を展開します。			
↓			
令和6年度 評価		☆評価	☆☆☆
・観光施設の入込客数はコロナ前と比べ回復していませんが、観光消費額、宿泊者数についてはコロナ前を上回っている状況です。このことはプロモーションサイトやSNSでの情報発信、閑散期の冬のイベントなどによる、一定の効果があったものと理解しています。 ・令和5年度は全国旅行支援により宿泊数が大幅に増加したが、支援終了後の令和6年度上半期の宿泊数は大幅に減少し、ココいクーポンにより下半期回復したものの、前年度の宿泊者数を下回りました。 ・令和6年度は新たな観光振興ビジョンを作成し、人流データ等各種データにより観光客の動向やニーズを分析したことで、今後、より効果的な事業展開につなげていきます。 ・国宝船形埴輪のPR活動を文化課や民間団体と連携し、さまざまなイベントを行うことで、観光誘客につなげることができました。			
↓			
令和7年度 実行宣言			
・公民連携を活用したインバウンド需要にも対応できる観光誘客プロモーション事業を引き続き展開し、国内外からの入込客数を増加させます。また、行きたくなるまち「まつさか」として、旅先に選んでいただけるよう、新しく取り組むイベント実施にあたり、民間事業者および関係各課と連携しながら観光客誘致につなげていきます。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項目	モニタリング対象10施設入込客数増減率(平均)				目標種別 ↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	102 %	105 %	108 %	110 %
	実績	100 %	104 %	— %	— %	— %
	評価	—	S	—	—	—
	今後の方針	旅行者が松阪の歴史・文化に触れ、食を満喫し、自然を体験できる環境を提供するため、受入体制の整備や観光資源の磨き上げなどに取り組むとともに、「松阪市に行きたい」と旅先に選択していただけるよう引き続きPRに努めます。				
数値目標 ②	項目	観光消費額(推計)増減率				目標種別 ↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	102 %	105 %	108 %	110 %
	実績	100 %	146 %	— %	— %	— %
	評価	—	S	—	—	—
	今後の方針	観光事業者等と連携し、市内で体験できる資源を発掘し、松阪を訪れた際の消費額増加に取り組むことで滞在時間の延伸を図ります。				
数値目標 ③	項目	モニタリング対象宿泊施設宿泊者数増減率				目標種別 ↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	105 %	110 %	115 %	120 %
	実績	100 %	97 %	— %	— %	— %
	評価	—	E	—	—	—
	今後の方針	円安に伴うインバウンドの増加を見込み、国内外の旅行者に行きたいまちとして「松阪」を選んでもらうため、付加価値を付けた事業を推進します。				

関係所属
観光交流課

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

3. 活力ある産業 ⑥ 松阪牛・地域ブランドの振興

評価者	農林水産担当理事 谷川 英次
令和6年度 実行宣言	
・ふるさと納税の利用者が多い関東圏(都市部)における松阪市産の食材(主に松阪牛)を使った料理コースの提供など、寄附者ニーズの高い返礼品の研究と拡充を進めます。また、返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修を更に進めるとともに、人気ポータルサイトでのターゲティング広告を重点的に実施します。 ・「松阪牛まつり」の開催をはじめ、松阪牛関連の各種イベントへの参加や、SNSによる情報発信を行い、インバウンド需要を見据えた更なる松阪牛のPRを図ります。	
令和6年度 評価	☆評価 ☆☆☆☆
・返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修やWeb広告をはじめ、全国的な寄附者ニーズをふまえ、新たに拡充した松阪牛の部位、セット品が、牛肉、すき焼き部門で人気No.1を獲得し、申し込みサイトでの効果的なPRにつながったことなどから、寄附額は目標額を大きく上回る24億7,500万円になりました。 ・第73回松阪肉牛共進会を中心とした「松阪牛まつり」を開催し、目標を上回る40,000人の来場者がありました。また、松阪牛のPRとして、松阪牛関連の特設サイト「うまつっか！松阪牛」の更新を行うとともに、インフルエンサーによる松阪牛の美味しさや魅力などをSNSを活用して情報発信しました。	
令和7年度 実行宣言	
・寄附者ニーズに応じた返礼品の拡充に加え、申し込みサイトで返礼品の表示、閲覧率を向上するためのサムネイル画像の改修とレビュー獲得(返礼品評価)に取り組むことで返礼品の魅力、発信力を高めていきます。また、寄附者の約50%を占める関東圏において、「ふるさと納税大感謝祭」を開催し、さらなるファン獲得をめざします。 ・松阪牛の振興については、松阪牛発祥の地(飯南町深野)にスポットをあてた取組として、メディアや地域おこし協力隊などを活用した情報発信や、牛舎見学ツアーなどを企画し、昔ながらの肥育手法を見聞する機会を創出することで、松阪牛発祥の地における肥育農家存続の支援に繋がります。 ・松阪牛の指定と場であり、且つ松阪牛1頭1頭の個人情報や肥育農家情報など、導入から出荷までをデータ管理する松阪牛独自のトレーサビリティシステムである「松阪牛個体識別管理システム」を管理運用している(株)三重県松阪食肉公社を支援していきます。	

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	飯南町深野(松阪牛発祥の地)における特産松阪牛の肥育頭数				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	40 頭	43 頭	47 頭	50 頭	
	実 績	37 頭	41 頭	— 頭	— 頭	— 頭	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	特産松阪牛の素牛導入について、継続的な支援を行い、肥育頭数の増頭をめざします。					
数値目標 ②	項 目	ふるさと応援寄附金の額				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	20 億円	21 億円	22 億円	23 億円	
	実 績	17 億円	24 億円	— 億円	— 億円	— 億円	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	10月からの制度改正により各申し込みサイトのポイント制が廃止され、年末に加え9月にも寄附件数が集中することが予想されることから、これらの時期に合わせたWeb広告等を重点的に実施します。					
数値目標 ③	項 目	ふるさと応援寄附金の返礼品として「松阪牛」を選ばれた方的人数				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	62,000 人	65,000 人	68,000 人	71,000 人	
	実 績	53,000 人	75,000 人	— 人	— 人	— 人	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	寄附者ニーズの高い部位、容量を中心とした返礼品の拡充をはじめ、返礼品の選択に大きく作用するサムネイル画像の改修やレビュー獲得に向けた取組を進め、松阪牛の価値、魅力を高めていきます。					

関係所属
地域ブランド課、農水振興課

3. 活力ある産業 ⑦ 雇用・勤労者福祉の充実

評価者	産業文化部長 岡田 久		
令和6年度 実行宣言			
・令和6年4月より障がい者の法定雇用率が2.50％へ引き上げられました。このことから、ゼロ雇用事業所のみならず障がい者雇用を推進している企業にも、更なる雇用促進を促すよう助成制度や支援制度について啓発をしていきます。 また、南三重地域若者地元定着事業では、就活ナビの求職者会員を増やすため新たな取組を進めます。			
			
令和6年度 評価	☆評価☆☆☆		
・障がい者雇用率は前年度比で0.13％上昇し、「2.41％」となりました。しかし、令和6年4月より法定雇用率が2.30％から2.50％に引き上げられたため、法定雇用率には到達できませんでした。このことにより、障がい者雇用率の算定義務企業の従業員数も43.5人以上から40人以上に変更されたことにより、対象事業者数が155社から168社に増加しました。一方、達成企業は104社から100社に減少し、法定雇用率達成企業の割合も67.1％から59.5％へと減少しました。そのような引き下げ要因が多い状況下で、管内の障がい者雇用率が0.13％上昇したことは、市内企業が障がい者雇用に理解を示し努力を続けた結果であると評価しています。引き続き、既存事業である優良事業所等の表彰制度やバスツアー（優良事業所訪問）の実施、ゼロ雇用事業所への訪問説明を行うとともに、障がい者雇用優良事業所を訪問し優良事例を研究する活動を、ハローワークや関係機関、民間事業者との連携を図りながら進めていきます。 ・南三重地域若者地元定着推進事業においては、南三重就活ナビに掲載する事業所数が当初の目標数である240社を超えたため、事業の主軸を求職者の獲得及びマッチングによる地元就職に変更しました。令和6年度は、残念ながら就活ナビを通じた就職者は0人でした。県内大学の学生や合同企業説明会の来場者に対して南三重就活ナビのPRを行い、就活ナビの会員求職者数増加の取組を進めるとともに、就活ナビを活用して南三重地域への就職者を増やす取組を進めます。			
			
令和7年度 実行宣言			
・障がい者雇用では、法定雇用率2.5％の達成に向けて、令和6年度に新たに対象事業者となった企業を中心に、さらなる雇用促進を促すため、助成制度や支援制度について啓発を進めます。 また、南三重地域若者地元定着事業では、就活ナビの求職者会員を増やすために新たな取組を推進していきます。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項 目	高校生の地元就職率				目標種別 ↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久				
	年 度	令和5年度(H30～R4平均値)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	45.5 %	46.0 %	47.0 %	48.0 %
	実 績	45.5 %	45.4 %	— %	— %	— %
	評 価	—	E	—	—	—
	今後の方針	就職を希望する高校生の地元就職を促進する資料として、地元の求人予定企業を紹介するガイドブック「企業案内」を作成し、松阪管内及びその周辺の高等学校等へ配布する取組を行います。				
数値目標 ②	項 目	障がい者雇用率				目標種別 ↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	2.50 %	2.50 %	2.70 %	2.70 %
	実 績	2.28 %	2.41 %	— %	— %	— %
	評 価	—	C	—	—	—
	今後の方針	事業者及び市民に対して障がい者雇用の機運を醸成するとともに、障がい者の職業的自立を支援するために、ハローワーク等の関係機関と連携し、障がい者雇用の促進を図る事業に取り組みます。				
数値目標 ③	項 目	就労の広場からつながった就職者数				目標種別 ↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	52 人/年	53 人/年	54 人/年	55 人/年
	実 績	50 人/年	51 人/年	— 人/年	— 人/年	— 人/年
	評 価	—	C	—	—	—
	今後の方針	ハローワークや福祉関連の部署等と連携し、相談者に寄り添った支援を行い、1人でも多くの相談者が就労に繋がるよう取組を進めます。				

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況						
数値目標 ④	項 目	南三重就活ナビからつながった就職者数				目標種別 ↑
	評価者	産業文化部長 岡田 久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	5 人/年	10 人/年	10 人/年	10 人/年
	実 績	3 人/年	0 人/年	— 人/年	— 人/年	— 人/年
	評 価	—	E	—	—	—
今後の方針		県内大学の学生や合同企業説明会の来場者に向けて南三重就活ナビのPRを行い、就活ナビの会員求職者数増加の取組を実施するとともに、就活ナビを活用して南三重地域への就職者を増やす取組を進めます。				

関係所属
商工政策課